

コロナ禍の子育て支援について

～オンラインでの子育て支援コミュニティに参加して～

指導教員：助教 宮越 浩子

担当学生：宮島 蒼大、守谷 朋恵、米島 和佐、森田 吏子、山口 瑞貴、若林 杏佳、
森竹 柚帆、山崎 杏花、和田 風吹

1. はじめに

私たちのグループでは、地域で行われている子育て支援にはどのようなものがあるのか調査したいと考え、毎年開催されている【子育てフェスティバル in いみず】というイベントへの参加を計画していたが、コロナウイルス感染拡大の影響により今年度は開催が中止されることとなった。ニュースなどによると、コロナウイルスの感染拡大により、子育て中の方は外出があまりできず、子育て支援センターなども利用しにくくなっているようである。そのような中、オンラインでの子育て支援が増えていることを知り、コロナ禍における子育て支援はどのように行われているのか調査を行うこととした。

2. 方法

- ・オンラインで行われている子育て支援にはどのようなものがあるかについて、インターネットを用いて情報収集を行った。
- ・オンラインでの子育て支援コミュニティ「おやくらぶ」に参加し、講師・参加者（育児中の方）の様子や場作りの工夫を観察するとともに、参加者との意見交換を行った。

3. 結果と考察

インターネットで調べたところ、オンラインの子育て支援には次のようなものがあった。

- ①未来デジタルアートレッスン（子どもたちが未来を想像し、描く）
- ②キッズクリエイティブ研究所（子どもたちの想像力、表現力を育む遊びが体験できる）
- ③ママこべる（子育て中の方が気軽に集い、子育ての不安、悩みを相談できる）
- ④その他（オンライン保育、動画配信による子育て支援など）

赤ちゃんが小さく出歩けない方や周りに相談できる人がいない方、そして現在はコロナが怖く外に出られない方など、たくさんの方々の声から、インターネットで気軽に参加できる新しい子育て支援の形が少しずつ広がっていることがわかった。

また、このように様々なオンラインでの子育て支援がある中で、実際にどのようなことが行われているのかを調査するため、「おやくらぶ」というオンライン子育て支援コミュニティに体験参加させていただいた。この「おやくらぶ」は、ADの宮越先生が運営に携わっているコミュニティであり、ママ向けや子ども向け、親子向けの講座などが行われている。

講座名【耳だけヨガ】

朝の6時半から30分間、ラジオのように耳だけで参加する講座である。ゆったりと落ち着いた雰囲気、ストレッチや呼吸法を教してもらいながら、今日一日を気持ちよく過ごすためのさり気ない問いかけがある。画面も音声もOFFの状態に参加でき、寝起きでも、どんな体勢でも気にする必要がないので、多くの人が利用しやすい講座だと感じた。

講座名【子どもの考える力をはぐくむシリーズ 家族のごきげんチャート】

講座の中で、自分にご機嫌な時と不機嫌な時の差をグラフ化し自己分析し、どういう時に機嫌が良くなったり悪くなったりするのかや、不機嫌な時の対処法について考えた。話しやすく温かい雰囲気があり、講師の方が自分の意見を受け止めてくれるので、初対面でも親しみをもつことができた。育児中のお母さんは、温かい雰囲気の中で、素直に思いを話すことができるので、リラックスして参加できると感じた。

講座名【たいせつな人の身を守るために】

講座では、全国各地の子育て中のお母さん方と楽しく雑談をしたり、防犯について自分たちの実体験をもとに話し合ったり、それに対する意見交換などを行ったりした。この講座に参加して、子育て中のお母さん方それぞれの防犯に対する考え方や防犯グッズ等を知ることができた。参加者同士の防犯に対する意識を高め合えたのではないかと思う。

講座名【パパママラジオ ～パパが理解できないママの行動をタカイさんが聞いてきた】

パパであり、保育士でもあるタカイさんという方が講師を務め、参加者にいろいろな質問を投げかけていく講座だった。この講座の大きなテーマは「パパが理解できないママの行動」というものだったが、「旦那さんがこんなことをしてくれたらいいな」「旦那さんが仕事帰りに買ってきてくれたら嬉しいもの」などについての意見交換もあって、聞いていてとても楽しい雰囲気だった。

講座名【保育者を目指す大学生から現役ママへ 質問タイム！】

現役のお母さん方に「子育ての楽しいところ、大変なところあれこれ」を聞いてみようという趣旨で、私たち宮越 AD グループの学生のために設けてくださった講座である。そこでは、理想の保育者となる夢を実現するために、私たちが感じている不安や疑問などを、参加者であるお母さん方に質問し、学びを深めていった。子育て中のお母さん方から様々なお話を聞いたり、応援のメッセージを頂いたりしたことを通し、自分に自信をもち、子育て支援に対して様々な学びを得ることができた。また、お母さん方が、保育者を目指す私たちをとっても応援し、期待してくださっているということにも気づくことができた。

いろいろな講座に体験参加させていただき、初めての参加であっても抵抗なく、まるで親しい友人とカフェでお茶を飲みながら話しているような感覚で参加できる「安心感」があった。また、以下に挙げる点が大きな魅力だと感じた。

- ・ 司会者の笑顔・優しい表情・話し方
- ・ 参加しやすい雰囲気
- ・ 意見に共感し会える場
- ・ 考える時間があるので焦らず一人一人が発言できる
- ・ 発言内容を認めてくれる
- ・ 子どもが傍にいても安心してリラックスして参加できる（画面・音声のオンオフが可能）
- ・ どこにも出かけなくても全国各地からの参加が可能

4. まとめ

富山コミュニティー論で学ぶ前は、子育て支援を提供している場所に行かなければ、相談などできないと思っていたが、周りに相談できる人がいなかったり、コロナ禍で出かけにくい状況があったりしても、オンラインで気軽に相談できる場があることがわかった。また、コロナ禍で子育てが難しくなり、子育て支援もしにくい状態だが、さまざまな工夫をしながら子育てを支援できることを学んだ。実際に参加してみて、プライベートが守られている感があり、気軽に話せる場もあるので、いろいろな方に利用してほしいと思う。周りに子育て中の方がいたら、こういったオンラインでの子育て支援についても紹介していきたい。